

第7回 人と自然の共生国際フォーラム

The 7th international Forum on Interrelationship between Nature and Human Beings

開催日時：2013年10月12日（土） 9:25～16:40

開催場所：愛・地球博記念公園内 地球市民交流センター

テーマ：「子どもたちとともに考えよう、人と自然の共生」

アクション・プレゼンテーション

体験学習室 9:30～10:40

4～5月に、第5回・第6回のフォーラム宣言の内容にそって活動する事業を募集しまして、応募があった9件のうち、審査によって選ばれた6事業の活動団体に、活動発表をしていただきました。



■ 木で創ろう、食卓の“和”！ ～里山でいただく自然の恵～ 愛知工業大学

■ 里山を身近に感じよう！！ 里山保全、いつやるの、今でしょ！

愛知淑徳大学 学生団体エコのつぼみ（竹ガール＊竹ボーイ）

■ アートあそびプロジェクト「森はアトリエ」 tre punte（トレ・プンテ）

■ 環境・多文化共生の国際交流

愛知県立大学多文化共生・学生ボランティアチーム

■ 絵本を通して世界と出会おう！ 世界と出会う絵本ひろば Looppe（ルプブ）

■ 自然育児および教育を考える会 鎮守の森のなかまたち「もりのこ倶楽部」



市民のEXPO

屋内広場・食の広場 9:30～16:00

アクション・プレゼンテーションの発表団体をはじめ、37団体が工作体験ブースや活動紹介ブースを出展し、子供から大人まで、楽しみながら人と自然の共生について学んでいました。



グループディスカッション

多目的室3 10:45~12:15

国際音楽交流NPO環音（わおん）代表の広田 奈津子さんがファシリテーターとなり、参加者はアクション・プレゼンテーション発表団体のメンバーと一緒に、

A. 里山をベースに、地域の中での循環や、地域同士のつながりのあり方を考える。

B. 温暖化問題への対策や新しいエネルギーのあり方を考える。

C. 海外の知恵や生き方に目を向け、国際的なつながりを考える

D. 先人の知恵に目を向け、世代を越えたつながりを考える

の4つのテーマに分かれ、次世代のためにこれからどのように行動していくかを話し合い、「私たちのフォーラム宣言」を考えました。



特別講演

体験学習室 13:15~14:45

「百億人が地球に暮らすためには」をテーマに、宇宙飛行士の毛利衛さんにご講演いただきました。



パネルディスカッション

体験学習室 15:00~16:30

テーマ:「子どもたちとともに考えよう、人と自然の共生」

中日新聞社主催の「地球未来こども塾」に参加した子供たちとともに、人と自然の共生について議論をしていただきました。まとめとして、午前中のグループディスカッションの話し合いの結果も参考にして、コーディネーターの川井 秀一先生によって「第7回（私たちの）フォーラム宣言」がまとめられました。

コーディネーター

京都大学大学院総合生存学館 学館長
川井 秀一 さん

パネリスト

国際音楽交流NPO環音（わおん）代表
広田 奈津子 さん

コメンテーター

あいち海上の森センター 名誉センター長
マリ クリスティーヌ さん

京都大学霊長類研究所 准教授

マイケル アラン ハフマン さん

中日新聞社主催「地球未来こども塾」に
参加した子どもたち 5名





第7回(私たちの)フォーラム宣言

私たちは、これまで開催したフォーラムを通じて、里山が人と自然をつなぎ、地域づくりの場として重要であること、また自然を持続的に利用する生き方の大切さを学んできた。とくに、第5回及び第6回フォーラムでは、議論の積み重ねと共に、先人の知恵に学び、新たな社会の構築に向けて、いま私たちができることから行動を起こしていくことの大切さを再確認した。

このフォーラムでは、子どもたちと共に、人と自然の未来に向けて、どのように行動すべきかを考え、議論した結果、以下の宣言を行う。

- ① 里山をベースに、地域の中での循環や、地域同士のつながりのあり方を考える
 - ・春夏秋冬、里山へ行き、汗を流す
 - ・里山保全に努め、その効果を明らかにする
 - ・週に一度は家族で食卓をかこみ一釜のご飯を食べる
 - ・子どもたちに自然体験ワークショップを行う
- ② 温暖化問題への対策や新しいエネルギーのあり方を考える
 - ・資源とエネルギーを大切に使う
 - ・温暖化による影響を隣人や周りの人たちに伝える
- ③ 海外と日本の智慧や生き方に目を向け、国際的なつながりを考える
 - ・子どもの目線で「おなじ」と「ちがい」に気づく
- ④ 先人の知恵に目を向け、世代を超えたつながりを考える
 - ・歴史と伝統文化を学び、受けつぐ
 - ・身近な人に聞き、身近な人に伝え、そして実行に移す
 - ・子どもたちの夢を育てる

今後これらを広く発信し、社会や暮らしを見直す決意を育みながら、自ら具体的に行動していくことを約束する。

平成25年10月12日

 **人と自然の共生国際フォーラム** 参加者一同
The 7th International Forum on Interrelationship between Nature and Human Beings